

宇土市民会館施設 指定管理者
令和7年度 管理運営評価票

所管課：文化課文化係

I 施設の管理概要

指定管理者名	NP0 法人 宇土の文化を考える市民の会
指定期間	第4期:令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理料	38,131,969円(令和7年度分) (内訳)年間指定管理料 37,000,000千円+物価高騰による増額分 1,131,969円

II 管理運営の評価

1 提案内容の実施状況

提案内容	実施状況
多種多様な優れた芸術文化鑑賞機会の提供	クラシックやブラスバンド、トランペット奏者のリサイタル、ミュージカル、寄席、伝統芸能等、様々なジャンルの芸術文化鑑賞機会を提供し、市内外から多くの観客が訪れた。
市民の皆様の文化活動支援	地元で活動する太鼓演奏団体を中心とする実行委員会が「宇土太鼓祭」を開催し、企画運営において支援した。 また、春の音楽の祭典では、昨年度より1団体多い市内外の合唱団7団体が出演し、熊本出身のバリトン歌手・春日保人さんと共演した。
教育普及活動	アウトリーチ事業として、ブラックボトム・ブラスバンド、プロダンサーなどが市内小学校に出向き、活動を行った。また、県立劇場演奏家派遣アウトリーチ事業を活用してプロ演奏家を講師として市内小学校に派遣し、出前授業を実施した。
地域貢献・地域との連携	地域伝統芸能祭では、地元の「松山花棒踊り」「宇土の御獅子舞」「宇土の雨乞い大太鼓」に上演の機会を提供した。実施初年となる公共ホールダンス活性化事業（ダンかつ）では、ダンサーの岩淵貞さんが学校や市役所、外国人技能実習生を対象にアウトリーチとワークショップを実施した。

【評価】

熊本出身のバリトン歌手・春日保人さん、天草市出身で著名アーティストのサポート活動も行うトランペット奏者・田尻大喜さんなど一流のアーティストによるコンサート、日本テレビ「笑点」メンバーである落語家・三遊亭好落さんが出演した「うと寄席」など、地方の公共ホールで一流芸術家を招いて低廉な料金で芸術文化を鑑賞する機会を創出した。

こうした公演には芸術文化に造詣の深い目の肥えた方々が市内外から多く来場され、アンケートでは事業内容には好評価をいただいた一方で、駐車場不足やトイレの使い勝手の悪さ、空調や座席の不快性など施設に対する不満が多く寄せられた。

次代の宇土の芸術文化を担う子どもたちや、普段芸術文化を鑑賞する機会が少ない地域住民を対象にした事業にも力を入れ、地域や市民とともに宇土の文化を作り上げるというNPO法人宇土の文化を考える市民の会の活動理念に即した活動を展開している。

2 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
■ 貸館事業活性化			
1. 施設利用率	ホール 70% 大会議室 70% 会議室 85%	66.8% 67.4% 87.0%	前年度比 0.4%減 前年度比 5%増 前年度比 3.8%増
2. 利用者数	70,000 人	40,218 人	前年度比 5,930 人増
3. 利用料金	10,800,000 円	11,852,234 円	前年度比 543,40 円増
■ 自主文化事業活性化			
1. 各分野文化事業の開催数			全国公立文化施設協議 会加盟中規模館年間平 均事業数 11.9 回
① 鑑賞型	① 7 回以上	① 5 回	※ ①～③合計
② 普及啓発・育成型	② 10 回以上	② 21 回	
③ 参加創造型	③ 3 回以上	③ 3 回	
【点検・調査結果及び評価】			
貸館事業においては、大会議室及び会議室の利用率が前年度より増加し、利用者数も前年度比で 6,000 人弱増加した。利用料金は前年度から増加し、目標値も上回った。自主文化事業においては、①鑑賞型は目標値を下回ったものの、②普及啓発・育成型は目標値を大きく超える 21 回を数えた。①②③合計回数 29 回は全国公立文化施設協議会加盟中規模館の年間平均事業数 11.9 回を大きく上回っており、よく健闘していると評価できる。			

3 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	通年	専門業者清掃 92 回(大ホール、楽屋棟 53 回、客席 39 回) 舞台:舞台委託業者が利用の都度清掃、 会議室・ギャラリー:職員が毎日清掃
保守・点検	4/8・9	舞台照明設備保守点検(年 1 回)
	6/20、9/22、12/17、3/14	エレベーター点検(年 4 回)
	5/27、7/22、9/30、11/4、1/27、3/31	舞台機構設備保守点検(年 6 回)
	熊本ボイラメンテナンス 4/22、10/20 東芝キャリア(株) 4/22 日本ボイラー協会 10/20	大ホール用ボイラー・冷凍機保守点検
	9/30	建設設備定期検査(年 1 回)
	8/19、3/31	消防設備保守点検(年 2 回)
	9/20	防火対象物定期点検(年 1 回)
	3/14	ピアノ保守点検(年 1 回)
	4/9、5/8、6/13、7/9、8/8、9/5、10/9、11/10、12/11、1/8、2/4、3/11	電気保安管理(毎月 1 回)
	通年	警備委託
保安・警備	通年	環境衛生管理・舞台業務委託
舞台業務委託	通年	MMC
【点検・調査結果及び評価】 法令を遵守し、各種の保守・点検業務等が適正に行われている。建設から 50 年以上が経過し、施		

設や設備、備品の老朽化が著しい。令和7年度は空調機器取替工事、大ホール舞台機構吊物の修繕、消防設備の修繕を行った。令和8年度は大ホール舞台機構の吊物修繕、大ホール音響設備の修繕を予定している。また、施設の長寿命化計画を策定するために必要な基礎調査を実施する。指定管理者と協議しながら、数年かけて優先順位を決めて計画的に改修及び修繕を行っていく。

② 運営事業実績（主な事業・イベント）

事業・イベント名	開催期日	参加者数	内容
■貸館事業	※ 利用状況実績については、「4 利用状況」を参照		
■自主文化事業			
公共ホール活性化アドバイザー事業	5月19～20日 7月30～31日 12月17～18日 大会議室	合計 22 名	宇土市民会館における初の演劇アドバイザー事業として実施。地域における演劇文化の育成と、市民と舞台芸術の新たな接点づくりを目的として、外部アドバイザーである田上豊氏（劇作家・演出家）を招聘し、年間 3 回のリサーチ及びディスカッションを実施。
サロンコンサート 田尻大喜トランペット	6月26日 大会議室	105 名	熊本出身で「人を笑顔にするトランペッター」として活躍する田尻大喜氏をゲストに迎え、PO 法人宇土の文化を考える市民の会の会員優待コンサートとして開催。
アウトリーチ ブラックボトム・ブラスバンド	7月9～10日 緑川小・走潟小・網田小・網津小	緑川小 57 名 走潟小 11 名 網田小 78 名 網津小 39 名	公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ）の助成を活用し、ジャズバンド「BLACK BOTTOM BRASS BAND」による市内小学校 4 校でのアウトリーチを実施。教室や体育館を会場として間近で行われる生演奏で、通常の鑑賞公演とは異なる体験を児童に提供。
本物の舞台芸術鑑賞 ブラックボトム・ブラスバンド （1,2階席中学3年生、3階席一般）	7月11日 大ホール	市内中学3年生 468 名 ／一般 72 名 ■合計 540 名	「本物の舞台芸術鑑賞事業」として市内の中学3年生を無料招待して公演を開催。日本を代表するニューオリンズスタイルブラスバンドがロックやジャズまで幅広いレパートリーを披露した。
ファミリープログラム事業 （狂言みのる会・古家優里）	8月3日（狂言） 8月11日（ダンス） 大会議室	狂言 4 組 ダンス 6 組	夏休みファミリープログラムとして、狂言ワークショップとダンスワークショップのプログラムを開催。狂言は田嶋晴雄氏（狂言みのる会）、ダンスは

			古家優里氏が担当。
落語ワークショップ(三遊亭好一郎)	8月3日 大会議室	親子10組	前半は落語の基本的な話術・所作・間の取り方、扇子と手ぬぐいを使った小道具表現を体験。後半は参加者が実際に高座に上がって一席語る「子ども高座」のコーナーを設けた。
公共ホールダンス活性化事業 アウトリーチ・ワークショップ (ダンサー岩渕貞太)	9月10～12日 市内各所	鶴城中バトン部17名 特別支援学級23名 外国人技能実習生9名 こどもみらいラボ SAI19名 宇土市役所職員有志23名 親子19名 ■合計110名	地域創造現代ダンス活性化事業として、アーティスト岩渕貞太氏、涌田悠氏を迎え、テーマを「からだのこえに、耳をすます」として実施。学校・福祉・企業・行政といった多様な現場に出向き、コンテンポラリーダンスを通じて身体の声に耳を澄ますことで心身を解放し、世代や立場を越えた新たな関係性を育んだ。
俳優館ミュージカル 「あらしのよるに」	10月4日 大ホール	大人135名 子ども105名 乳幼児20名 ■合計260名	名古屋市を拠点に活動する劇団「俳優館」によるミュージカル。嵐の夜に暗い小屋の中で出会ったオオカミとヤギの友情の物語。
地域伝統芸能祭プレ事業 トークイベント「伝統と継承のこれからを語る」	11月15日 大会議室	参加者15名 オンライン視聴100回	第10回目を迎える地域伝統芸能祭の開催を記念して実施したプレ事業。登壇者は小越友也氏(沖縄・がらまんホール プロデューサー)、小岩秀太郎氏(東京鹿踊 代表)。
第10回地域伝統芸能祭 「舞い、唄い、響きあう、祝祭の時」	11月16日 大ホール	来場者192名 出演者120名 ■合計312名	市内からは宇土雨乞い大太鼓保存会、宇土御獅子舞保存会、松山花棒踊り保存会が出演し、市外からは天草市の栖本太鼓踊り保存会、沖縄県宜野座村の創作エイサーLUCK、長崎市の十善寺龍踊が参加した。
三井住友海上文化財団 地域住民のためのコンサート 古部賢一&鈴木大介	12月21日 大ホール	一般269名 学生38名 招待18名 ■合計325名	クリスマスコンサートとして開催。出演は古部賢一氏(オーボエ)と鈴木大介氏(ギター)。第1部はバッハなどの教会音楽とクリスマスソング、第2部は各楽器の持ち味を活かした楽曲と共同制作アルバムからの選曲で構成。

うと寄席(三遊亭好楽)	1月18日 大ホール	370名	熊本県立劇場ネットワーク事業として共催で実施。「笑点」でおなじみの三遊亭好楽を筆頭に、三遊亭好一郎、三遊亭好好(落語)、本田浩平(津軽三味線)が出演。
第10回春の音楽の祭典 (ゲスト:春日保人)	3月15日 大ホール	一般212名 学生8名 招待8名 出演者108名 ■合計336名	第1部は宇土・宇城の合唱団、鶴城中合唱部、宇土中高吹奏楽部有志の計7団体が出演し、音楽や春にちなんだ選曲で美しいハーモニーを披露。第2部は熊本出身のバリトン歌手・春日保人さんがゲスト出演。第1部で出演した団体と共演した。
宇土太鼓祭「水の記憶」	3月22日 大ホール	アウトリーチ10コマ 参加児童519名 プレ事業1614名 一般296名 U2545名 小学生招待60名 出演者32名 ■合計2,571名	宇土天響太鼓・太鼓芸能集団「紬衣」・宇土高校和太鼓部「鼓」で構成される実行委員会との共催。本公演に先立ち、市内小学校や保育園でプレ事業(アウトリーチ・ワークショップ)を開催。
アウトリーチ事業	通年 宇土市内小学校	合計6コマ 参加児童207名	熊本県立劇場との連携及び宇土市民会館独自の音楽・芸術アウトリーチ事業により、市内小学校の児童に芸術体験の機会を提供した。 【派遣アーティスト】 大迫旭洋氏(劇作家・演出家・役者)と村椿彬子氏(メゾソプラノ)の2名。
【点検・調査結果及び評価】 幅広い世代を対象とした多種多様な事業を展開し、アンケートでも概ね良好な評価を得、質の高い芸術文化事業を市民に提供できたものと評価できる。舞台をただ鑑賞するだけではなく、芸術文化に触れる機会が少ない子どもたちに対するアウトリーチ事業に力を入れ、プロによる芸術文化の奥深さや迫力を伝えるとともに、自己を表現する楽しさや喜び、創造力豊かな子どもたちの完成を育むことができる貴重な機会となった。			

4 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
	開館日数	357 日	357 日	増減なし
大ホール	利用可能日数	356 日	318 日	38 日増
	利用日数	237 日	213 日	24 日増
	利用率	66.8%	67.2%	0.4 点減
	入場者数	23,204 名	19,132 名	4,072 名増
大会議室	利用可能日数	350 日	349 日	1 日増
	利用日数	235 日	217 日	18 日増
	利用率	67.3%	62.4%	4.9 点増
	入場者数	8,339 名	7,200 名	1,139 名増
その他会議室	利用可能日数	305 日	304 日	1 日増
	利用日数	273 日	253 日	20 日増
	利用率	87.0%	83.2%	3.8 点増
	入場者数	7,639 名	7,181 名	458 名増
ギャラリー	利用可能日数	305 日	304 日	1 日増
	利用日数	34 日	52 日	18 日減
	利用率	10.5%	17.1%	6.6 点減
	入場者数	1,036 名	775 名	261 名増
【点検・調査結果及び評価】 大ホール・大会議室・その他会議室では、利用日数及び入場者数が前年度比で増加している。前年度(令和6年度)は大ホールトイレ洋式化工事を行い、その影響で約3ヶ月間大ホールが使用できなかったことによるものが7年度増加の原因ではあるが、一方で会議室の利用も増回していることは施設管理者による利用促進を図った成果である。利用率が低調なギャラリーについては、利用促進をより一層図る必要がある。				

5 管理経費の収支状況

① 収入

項目		内容	金額(円)
指定管理料		指定管理料(増額分 1, 131, 969 円含む)	38, 131, 969
利用料金収入	会議室	大会議室・他会議室・ギャラリー	4, 014, 698
	大ホール		2, 433, 776
	付帯設備・空調		5, 156, 165
自主事業収入	自主事業		1, 522, 800
	助成金		731, 557
雑収入		自動販売機販売手数料 他	403, 813
合 計			52, 394, 778
		収納未済額	247, 595
		うち利用料金未収入分	247, 595

② 支出

項目	内訳	金額(円)
人件費	給料・旅費日当・臨時賃金・法定福利費等	18, 971, 418
施設管理費	需用費・役務費・委託費・賃借費・備品	24, 223, 234
事業費	自主文化事業経費	5, 177, 710
事務費	需用費・役務費・負担金・租税公課費・法人税等	3, 538, 941
合 計		51, 911, 303
【点検・調査結果及び評価】		
前年度に比べ利用料金収入及び助成金収入が大きく増加していることから、その分全体の収入も前年度比約 56 万円増加した。一方で自主文化事業経費(支出)は前年度より約 120 万円増加しているにもかかわらず、自主事業収入は前年度より約 82 万円減少している。年間を通して質の高い文化芸術事業を継続して遂行したことは評価すべきあるが、自主事業収入増加についても改善を図られたい。全体収支については、前年度はマイナス収支だったが、令和 7 年度はプラス収支、約 48 万円の黒字となり、収支バランスの面では健全化された。施設管理費についても指定管理者が清掃を職員で行うなど昨年度より抑制されている。収入のうち利用料金の未収入分については、早急に回収されるよう努力されたい。		

③人件費における最低賃金の確認

※最低賃金（熊本県）→最低時間賃金（1, 034 円）効力発生年月日 令和 8 年 1 月 1 日

雇用形態	最低賃金を満たしているか(適 or 不適)
正規職員	適
非正規職員	適
その他（ ）	

6 利用者調査結果

調査 実 施 内 容	調査年月日	各イベント時に来場者へアンケート調査を実施。 ①令和7年6月26日 田尻大喜トランペットコンサート ②令和7年7月11日 本物の舞台芸術鑑賞事業「ブラックボトム・ブラスバンド」 ③令和7年8月3日・11日 夏休みファミリープログラム(落語・狂言・ダンス) ④令和7年11月16日 第10回地域伝統芸能祭 ⑤令和8年1月18日 うと寄席 ⑥令和8年3月15日 春の音楽の祭典 ⑦令和8年3月22日 宇土太鼓祭り
	調査方法	
	調査対象数	
調査結果		別紙アンケート結果参照
利用者からの意見等		
【評価結果及び評価】 開催した催事でのアンケート結果は催事そのものへの評価は概ね好評であり、質の高い芸術鑑賞や参加に対する市民の期待感がうかがえる。自主文化事業等の内容やスタッフの対応についても満足度が高く、指定管理者の努力の結果と評価できる。		

7 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
〈大ホール客席について〉 ・椅子が硬く長時間座れない ・座席が狭い ・階段が急で上がりづらい ・冷暖房の温度差が激しい 他同様のご意見多数	■現状の対応・改善状況 ・平成27年度以降、モニタリング調査やアンケートにおいて毎年報告済 ・現行建築基準法では既存不適格(特に階段傾斜角) ・指定管理者では構造・改修工事は対応不可 ■今後の対応と方針 ・宇土市公共施設個別計画・長寿命化計画への明記を要望 ・設計事務所・担当課と連携し、改修可能性の検証を提案 ・現場対応としてブランケット貸出／手すり反射シール等安全対策を継続
〈駐車場に関して〉 ・駐車スペースが少ない ・混雑時に駐車できない 他同様のご意見多数	■現状の対応・改善状況 ・鶴城中、老人センター、商工会、中央公民館、体育館等と連携し、臨時駐車場として運用 ・週末や大規模催事時には既存施設とパッシングし駐車困難に ■今後の対応と方針 ・宇土市としての立体駐車場整備を中長期的課題として提言 ・現場対応としてイベント時の警備員配置強化／来場者への事前案内強化／SNS等による満車予告も今後検討していく
【評価結果及び評価】 市民会館は建設から50年以上が経過しているため、苦情の多くは施設の老朽化や現在の基準に合わない設備などに対するものである。指定管理者及び市でも対応可能なものは順次対応しているが、座席の交換や階段の改修、舞台床面の張替えなど長期間の休館を伴う大規模改修については、財源確保も含めて今後の課題である。令和7年度は大ホール舞台機構の吊物修繕(5箇年計画	

の3年目)、楽屋と会議棟の空調機器取替工事を実施した。大ホールの座席と階段の段差については、大規模な改修が必要となるため、今後施設全体の改修計画の中で検討していくしかない。指定管理者自身で対応可能な苦情については随時改善されている。

施設及び設備の長寿命化を検討するため、令和8年度に市がコンサルに調査業務を委託する予定である。

8 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
ギャラリー利用率向上が課題	■現状の対応・改善状況 ・令和7年度のギャラリー利用率は10.5%(前年度17.1%)利用団体数は19団体で大きな増減はないが、長期展示の減少が利用率低下の主因と分析 ■今後の対応と方針 ・自主事業との連動(公演関連展示、休憩所開設)を企画段階から組み込み、稼働率底上げを図る。 ・会議室利用や、1日貸しなど柔軟な貸し出し形態を提供
大会議室の利用者数減少について原因分析が必要	■現状の対応・改善状況 ・令和6年度の大会議室利用者数減少要因として大ホール3か月間休館期間(12月～2月)に伴う併用利用の減少 ・令和7年度の大会議室入場者数は8,339名(前年度比+1,139名・+15.8%)、利用率67.3%(同+4.9pt)と回復基調。 ■今後の対応と方針 ・月次利用状況の分析を継続し、減少傾向が見られる月については原因を都度把握。 ・大ホールと大会議室の併用利用を促す案内体制を強化。
収支差額(▲463千円)の原因分析が必要	■現状の対応・改善状況 ・令和6年度赤字の最大要因は①舞台機構改修工事に伴う大ホール3か月間使用停止による使用料収入減(前年度比約140万円減)、②電気料金等エネルギーコストの上昇、③最低賃金引き上げによる人件費の上昇と特定。 ・分析結果を踏まえ、令和7年度より電気契約先の見直し、助成金事業の積み増し(三井住友海上文化財団の新規獲得等)を実施。 ■今後の対応と方針 ・令和7年度収支差額は電気料金の民間契約の見直しに加え、市からの追加補助等もあり731千円の黒字に転換。 ・物価高騰・賃金上昇は今後も継続するため、外部資金獲得と費用構造の見直しを継続。
築50年超の建物であり、舞台機構・音響・照明等	■現状の対応・改善状況

の更新が必要な設備が多い 長寿命化に向けた専門的調査を急ぎ、危険度・緊急度の高いものから優先的に改修・修繕を計画的に進める必要がある	・宇土市公共施設個別計画および長寿命化計画との整合を図り、所管課との情報共有を強化。 ・令和7年度に発生した老朽化由来のトラブル(空調機の不具合、外壁の剥離・落下による敷地内立入規制等)について、設置者と連携し緊急対応を実施。 ・舞台機構の5か年計画(令和5年度～)に基づき、年次的に改修工事を継続中。 ■今後の対応と方針 ・危険度・緊急度に基づく優先順位リストを毎月市へ提出。 ・第5期指定管理期間(令和8～12年度)における計画的修繕の年次配分案を市と協議。 ・専門業者による設備診断調査の実施を要望し、客観的データに基づく中長期計画の策定に協力する体制を整備。
アウトリーチを今後も継続して実施していただきたい	■現状の対応・改善状況 ・令和7年度はアウトリーチを大幅に拡充。ブラックボトム・プラスバンド(市内4小学校 計185名)、公共ホールダンス活性化事業(鶴城中・特別支援学級・外国人技能実習生・親子等 計110名)、県立劇場登録アーティスト派遣(市内2小学校 計207名)、宇土太鼓祭関連アウトリーチ(保育園・小学校・幼稚園で10コマ 計519名)を実施 ・市内小学校7校・中学校1校・その他5施設で合計25コマ、延べ1,000名超の規模で実施。 ■今後の対応と方針 ・アウトリーチを自主文化事業の重点領域と位置づけ、令和8年度以降も同規模の継続実施を計画。 ・市内全小中学校への巡回計画を中期的に整理し、地域的偏りのない機会提供を継続。 ・教員向けワークショップ、福祉施設との連携も視野に対象範囲を拡大
客席内飲料持込み(熱中症対策)について、劇場本来のモラルが根本から崩れないように	■現状の対応・改善状況 ・夏季期間における客席内飲料持込みの運用基準を明文化。①密閉容器のみ可、②座席エリアでの飲用、③公演中の音への配慮、を主催者・利用者へ事前掲示と口頭で周知。 ・熱中症警戒時対応マニュアルに基づき職員配置と来場者声かけを実施。令和7年度は熱中症発症事例なし。 ■今後の対応と方針 ・劇場本来の鑑賞環境を維持する観点から、運用基準の遵守状況を継続的にモニタリング。

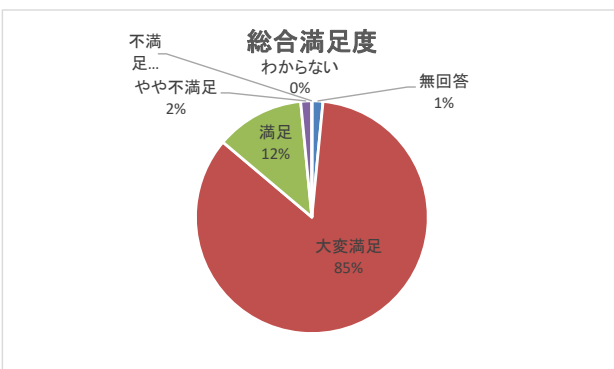
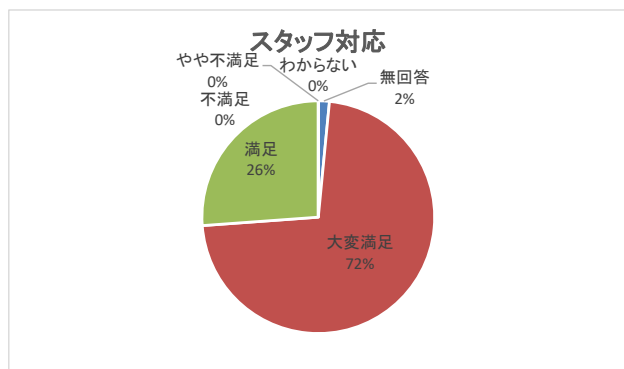
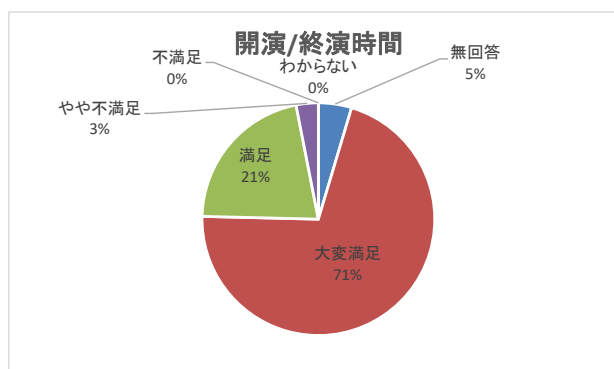
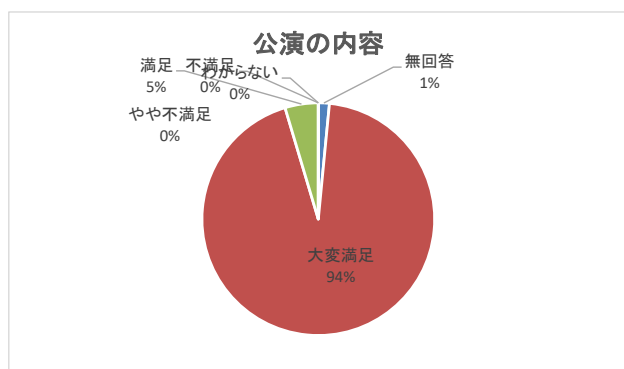
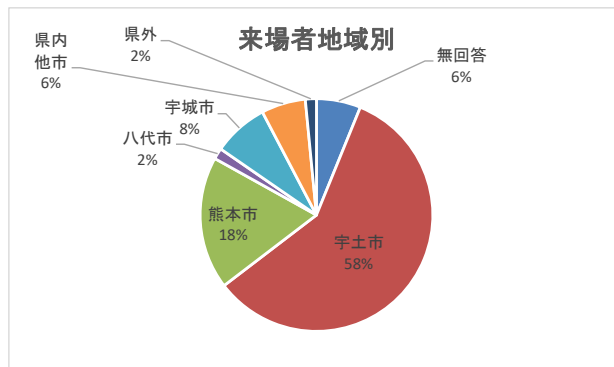
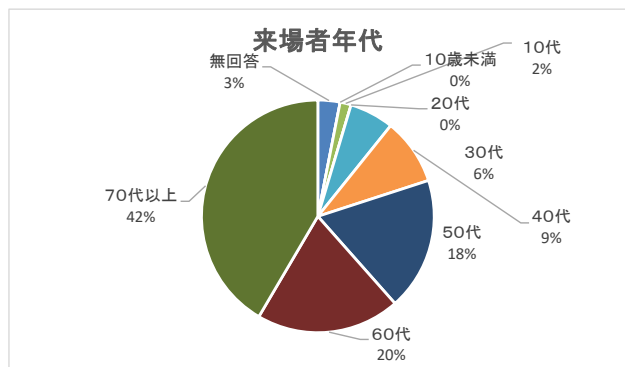
	・客席空調の温度ムラ等の構造的課題は施設改修要望事項として継続的に市へ提出。
太鼓や獅子舞など地域に残る伝統芸能を後世に伝えるため、文化を育む場としての機能を継続的に担うこと	■現状の対応・改善状況 ・第10回地域伝統芸能祭を開催。県内の団体の他、長崎県・沖縄県から伝統芸能団体を招聘し、生で観る機会の少ない芸能を市民に披露(来場312名)。プレ事業として「伝統と継承のこれからを語る」トークイベントを開催し、伝統継承の課題と展望を市民と共有。 ・宇土雨乞い大太鼓を題材とした宇土太鼓祭「水の記憶」を実行委員会共催で実施(総計2,571名)。世代を越えた継承の基盤を構築。 ■今後の対応と方針 ・宇土御獅子舞保存会・松山花棒踊り保存会等との連携を継続強化。 ・伝統芸能の記録・冊子化を進め、地域内外への発信基盤を整備。 ・第5期指定管理期間において、地域伝統芸能の継承を自主文化事業の柱の一つとして位置づける。
【評価結果及び評価】 指定管理者で対応可能な改善内容については、利用者のニーズに合わせて即時的に対応いただいている。大規模な改修工事や費用負担を伴う設備の更新については、指定管理者と市で協議の上、緊急度の高いものから優先順位をつけて改善していく。自主財源を補う外部資金の獲得及び活用についても、積極的に取り組み、前年度より金額が増加し、その効果・成果が出ていることは評価できる。	

9 その他

令和7年度自主文化事業アンケートまとめ

宇土市民会館

田尻大喜 サロンコンサート 令和7年6月26日(木)



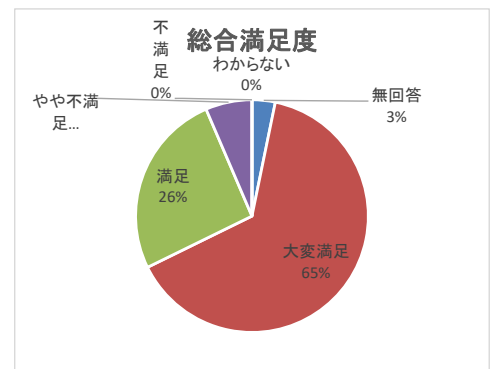
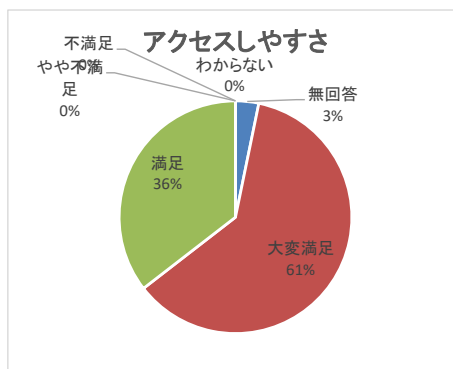
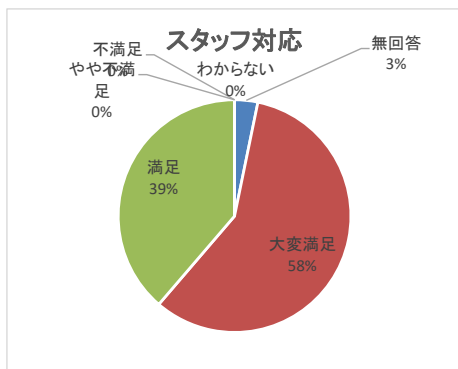
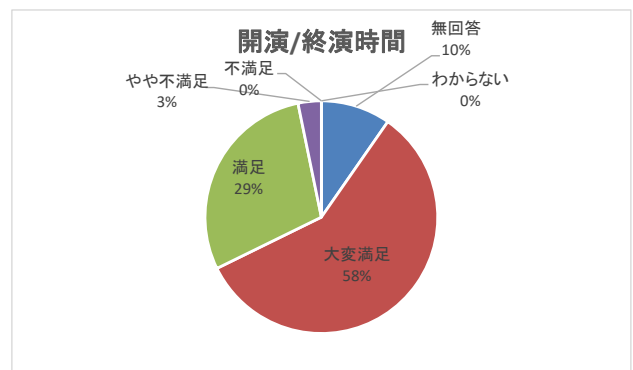
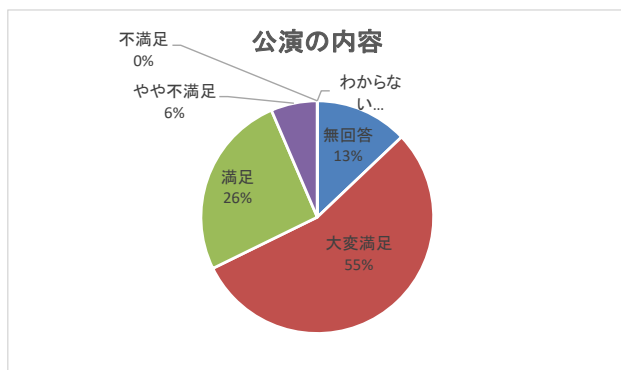
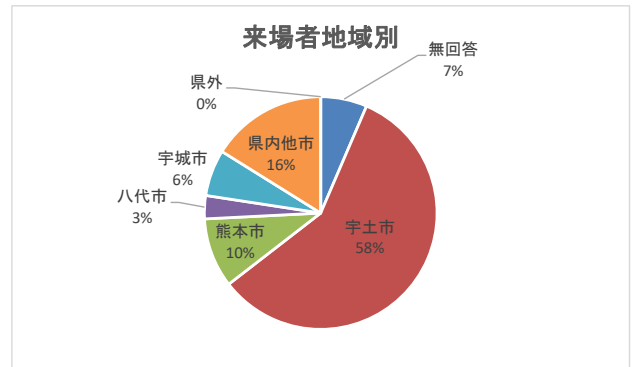
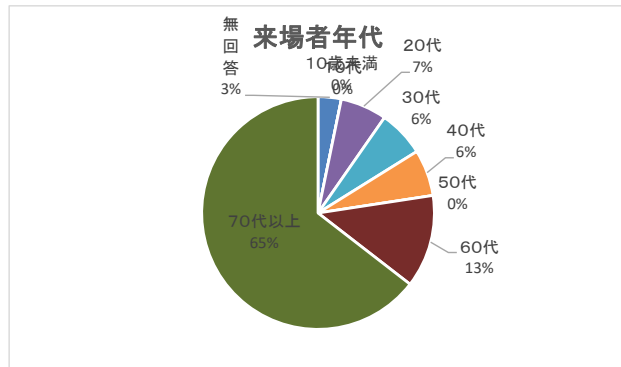
感想(一部抜粋)

天草へ住んでいた頃、3年前くらい「人を笑顔にするトランペッター」初めて聴いてとても感動しました。田尻さんは娘と同じ年齢ですが、素晴らしいと思いました。娘も吹奏楽やってます

トランペットのコンサートは初めてなのでどんなものかなあ～と思ってきてみたら、とても素敵な演奏で楽しかったです。お話もあたたかい人柄が感じられて良かったです。子供達のための取り組みも素晴らしいです。応援したいです！

生音で聴けてとても感動しました♡お客様のニーズに合わせてのプログラムもとても良かったです。

おんかつ支援事業 BBBB 令和7年7月11日(金)



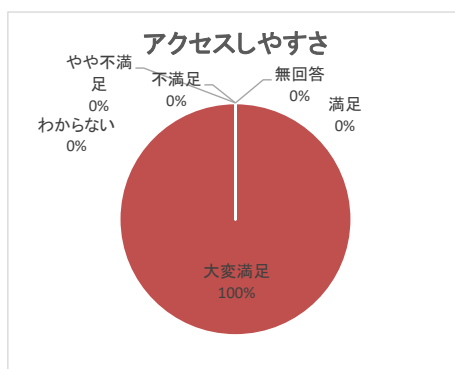
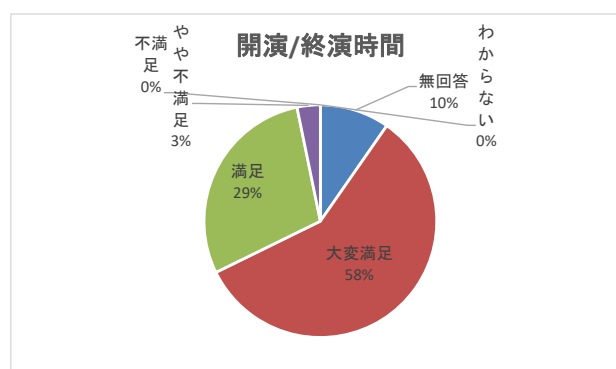
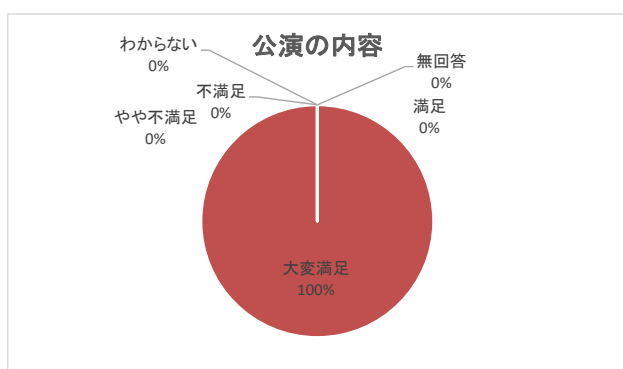
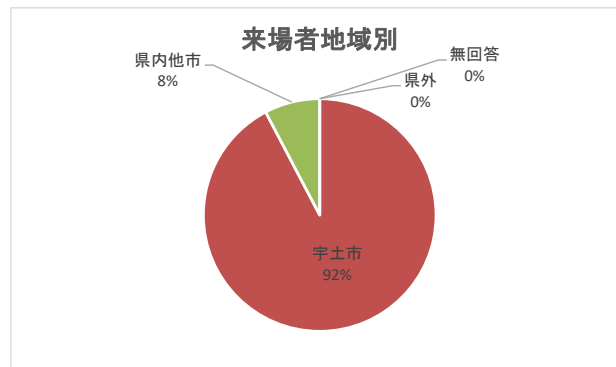
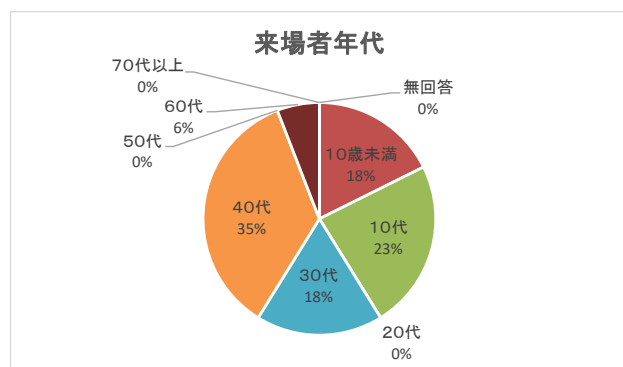
感想(一部抜粋)

素晴らしいコンサートでした。生の音楽に触れることの少ない子供達にとって端音楽の楽しさを知る良いコンサートだったと思います。音楽の好きな子供達が増えることを願っています。

音楽がこんなに楽しいものとは。生演奏とほとんど経験のない生徒達がこれほど子供達も楽しい音楽で乗って浮きだっている姿に感動しました。

音楽の自由な演奏に満足。何にもとられない自由は音楽リズムに感動しました

夏休みファミリープログラム(落語・狂言・ダンス) 令和7年8月3日(日)・8月11日(月)



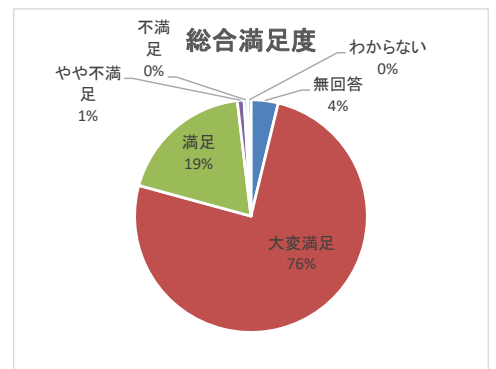
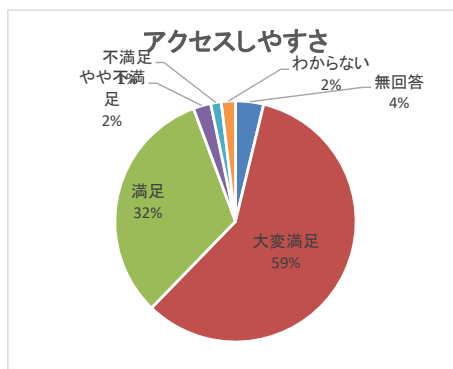
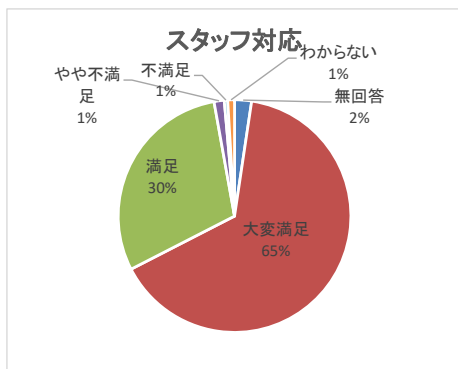
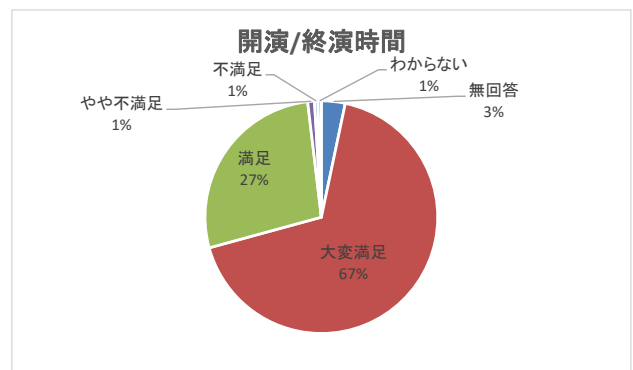
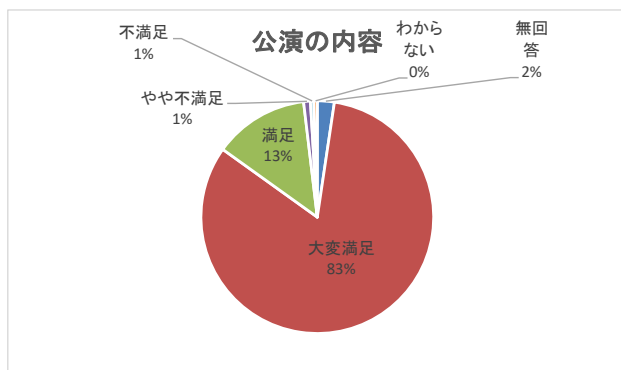
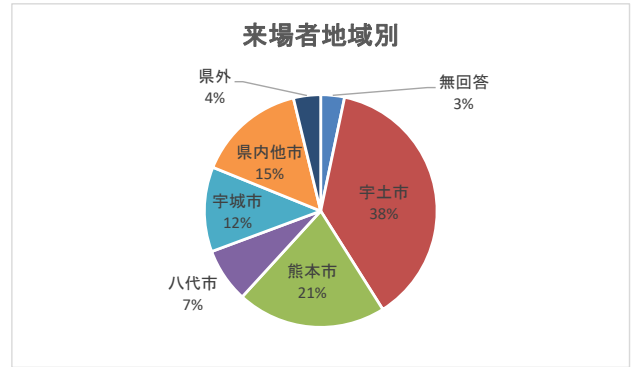
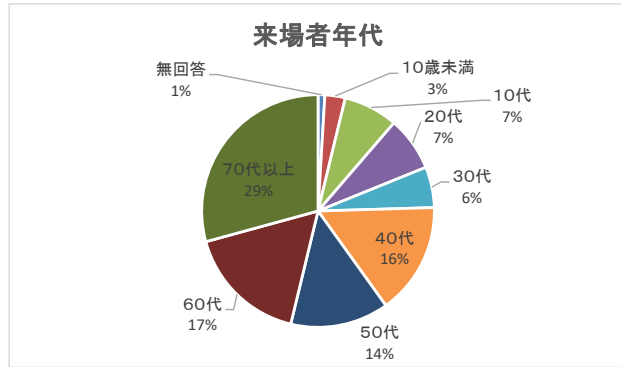
感想(一部抜粋)

歩き方の体験が楽しかったそうです。家でもしっかり見せてくれました。
日本の伝統芸能に触れる機会なかなかないので、とても貴重で楽しかったです。

古家先生に会うことができた。ダンスレッスンの内容が型にとらわれず、自由な発想で子どもがとても楽しんでいた。子育てのヒントになりそう。

子どもがとても楽しく活動していました。参加料も丁度良いです！

第10回 地域伝統芸能祭 令和7年11月16日(日)



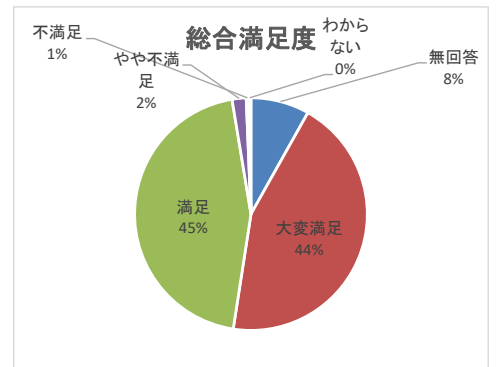
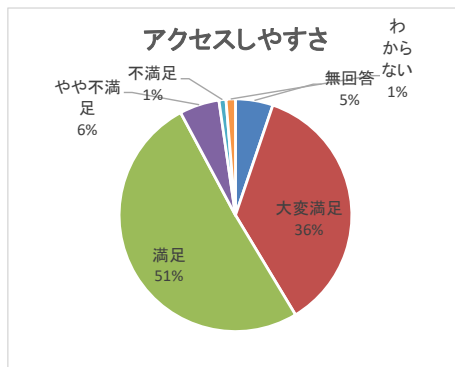
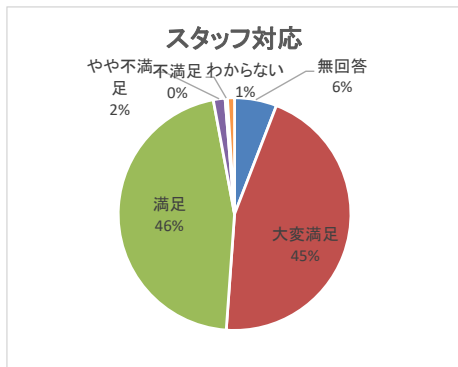
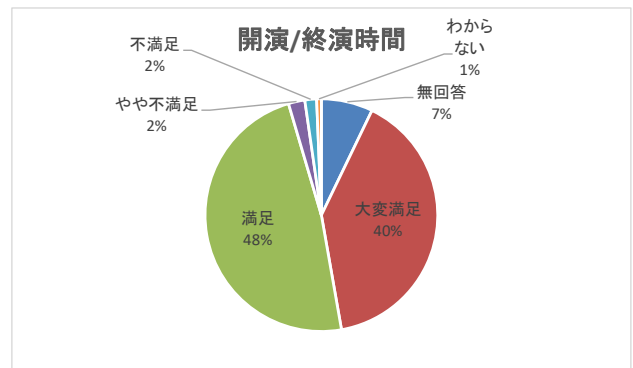
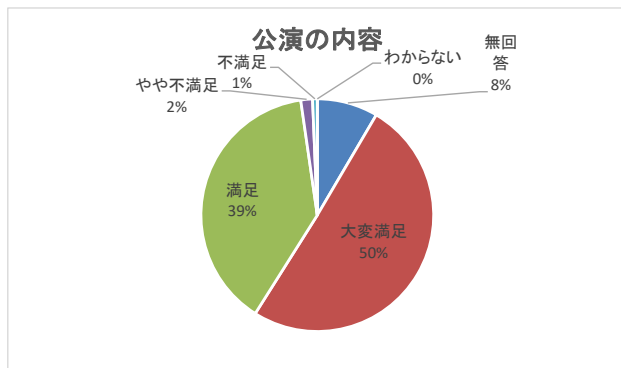
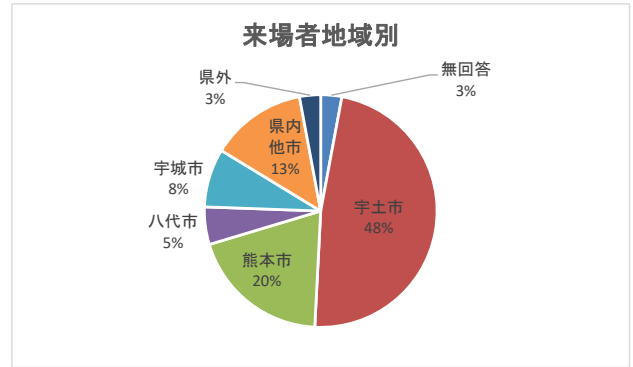
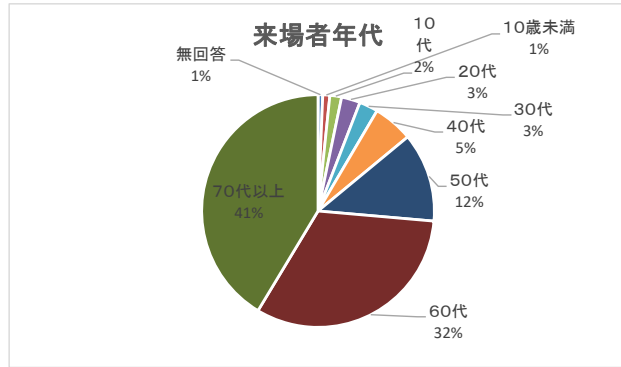
感想(一部抜粋)

創作エイサーLUCK最高！！めっちゃめっちゃかっこよかったです。どの団体さんも伝統を大事に受け継がれていて、素晴らしかったです。とても大切なことで知ることができて良かったです。とても楽しかったです。

松山花棒踊りの子供達がんばってください。保存会の方々の苦労も大変でしょうが、がんばってください。八代の植柳小学校3、4年生が運動会で80名位で、花棒を踊りました。

沖縄の創作エイサーLUCKさんの身体能力にビックリしました。長崎の龍踊りも初めて観ることができました。ありがとうございました。

うと寄席「三遊亭好楽落語会」 令和8年1月18日(日)



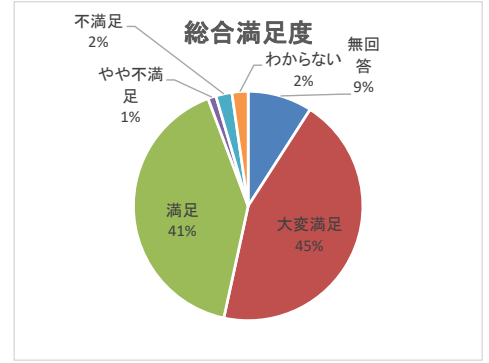
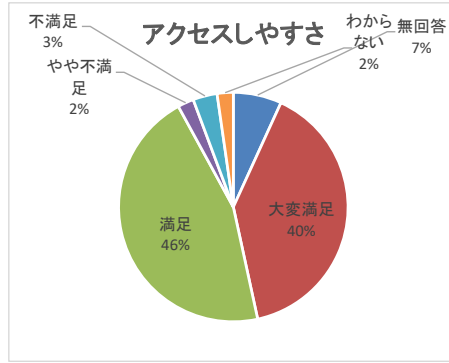
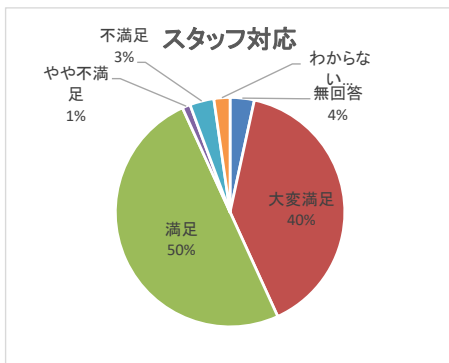
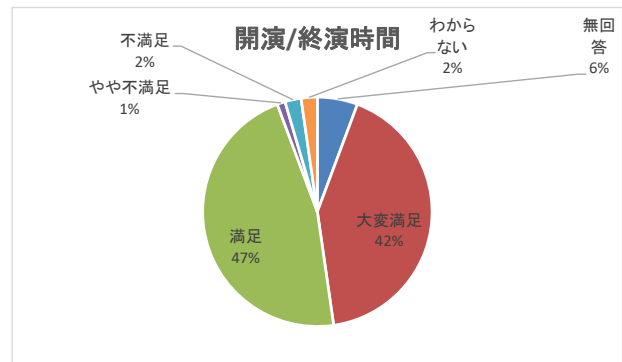
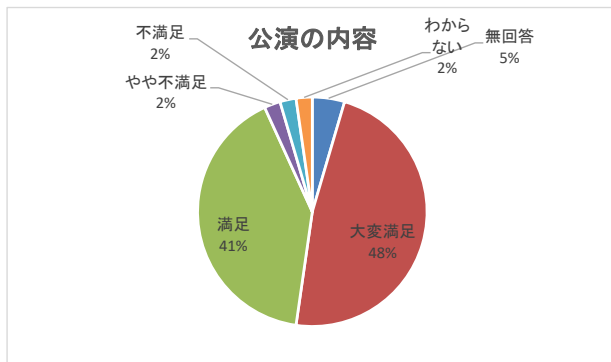
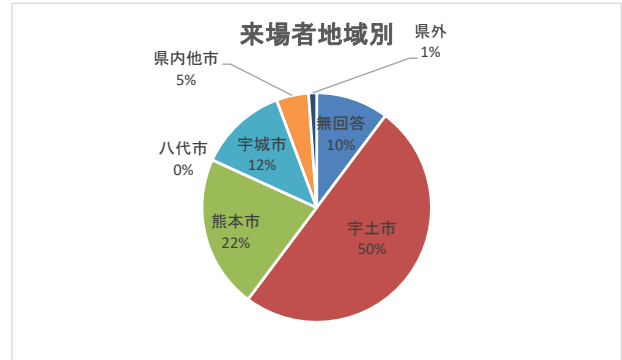
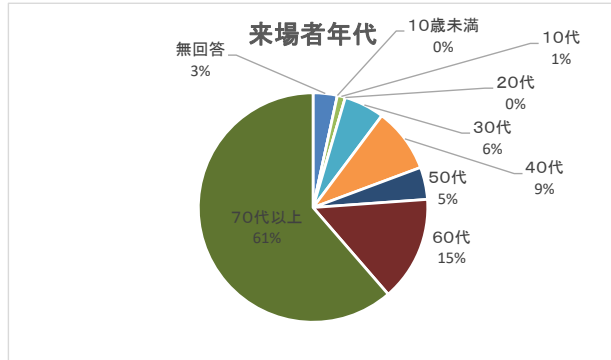
感想(一部抜粋)

年の初めに落語や三味線を楽しむことが出来て有意義な時間でした。
落語は好きで日頃からYouTube等で楽しんでいます。寄席も何度もお邪魔しています。笑うことはとても良いですね。これからも楽しみたいと思います。

好楽さんはもちろんのこと、好一郎も好好さんも素晴らしかったです。また本田浩平さんの三味線も素晴らしかったです。あっという間の素敵な時間をありがとうございました！

本田浩平さんの津軽三味線は素晴らしかったです。今後また機会があれば是非公演を観たいと思います。さすが好楽さん面白かったです。

第10回 春の音楽の祭典 令和8年3月15日(日)



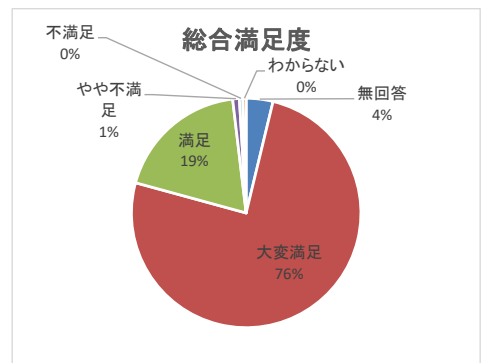
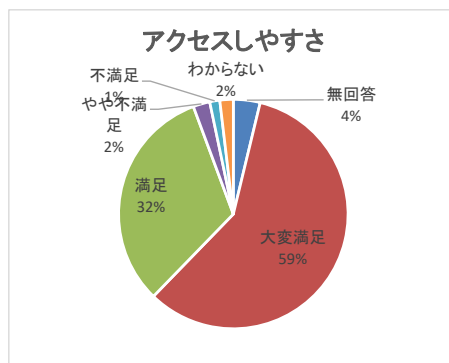
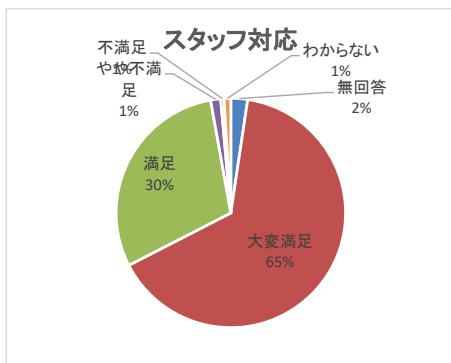
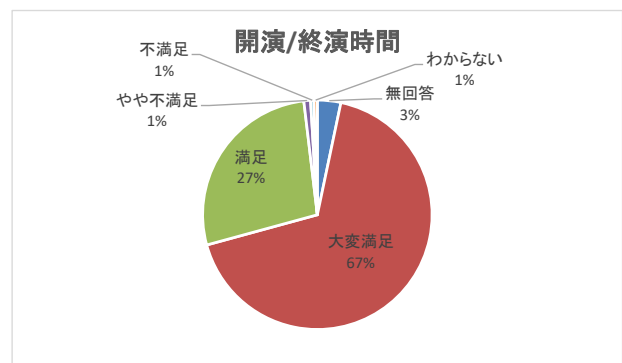
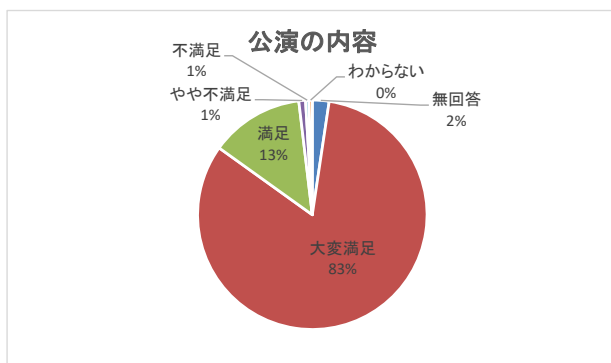
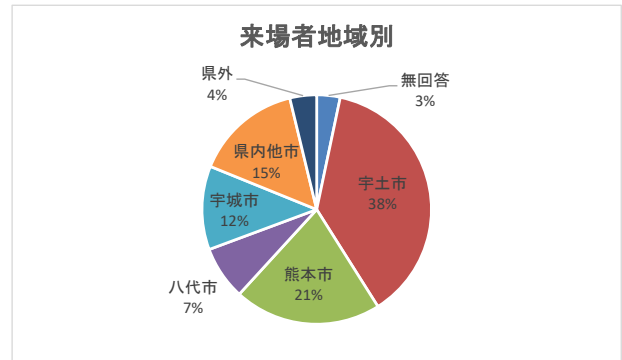
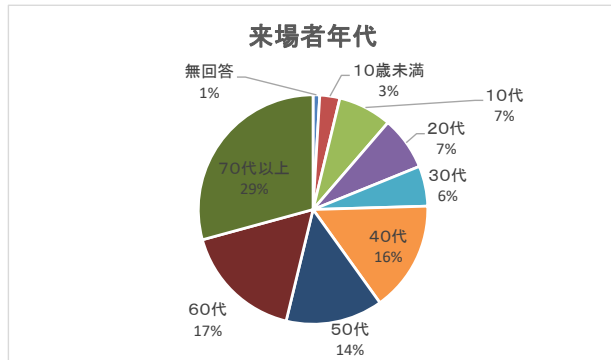
感想(一部抜粋)

出演の先生久しぶりに拝見できてとても懐かしく聴くことが出来ました。
春日先生の色んな演奏を感じとても思い出深い時間でした。
次回も先生に会いたい、ききたいです。

主役のプログラムや新曲は観客から見ても自然な流れになつていて、1度良い休憩かめつたので良かったです。その後のサプライズ登場は少しずつ退屈しそうな時間帯にあったので観客の皆さんの気を引かれたのは非常に良かったしわくわく感がありました。またスタッフの方々の温かい迎え入れがとても優しさに溢れていました。また、出場された皆さんも一生懸命に練習されていて今日に挑まれていたのだと思います。その姿が歌や演奏に現れているのを7人7人と感じました。

春日さんがいろんな楽器を演奏して楽しませてくれてとても良かったです。
最後のアンパンマンのマーチもとても明るい雰囲気でした！

宇土太鼓祭り～水の記憶～ 令和8年3月22日(日)



感想(一部抜粋)

初めて宇土太鼓の響きを聞きました。泉より湧き出す水の生命を感じられ感動しました。

出演者の方々が作曲にも取り組まれ個性のある作品でした。三団体でともに取り組み曲を仕上げることは大変だったと思いますが、クオリティーが高く、どれも見応えがあり楽しかったです。宇土の素晴らしい芸能をもっと盛り上げて欲しいと願っています。沢山の方に知って頂きたいと思います。応援しています。

胸の奥底にまで響き渡る太鼓の音に感動魅了されました。一糸乱れぬ力強い太鼓の音色は日頃の練習量の積み重ねの賜といえましょう。ありがとうございました。素手で叩く太鼓は初めて聴きました。篠笛とのコラボも大変良かったです。